

●善光寺だより

××

●全超寺で晋山結成



●インド仏蹟の土を踏む参道完成（龍光寺）

四月七日、本寺光真寺のご長男光泰師が、全超寺において晋山結成式をなさいました。

当山からは黒田住職の愛弟子・瀬之間和仁師が首座として、又、次男泰志君が弁事としてそれぞれの役目をつとめあげました。【写真上】

当山を支えてくださる佐藤俊明老師のご自坊（千葉県の龍光寺）に、インド仏蹟の土を埋めた参道が完成しました。

この土は、昨年当山住職と渡印され、仏蹟の各所を参拝されたときを持ち帰られたもので、インドに行くことができない人でも、その地を感じることができるようにと発願されたものです。

インド仏蹟の土が埋められた参道

- 生誕の地 ルンビニー園の土
- 苦行の身心を浄めたネーランジヤラ一河の砂
- 悟りの地ブッダガヤ金剛宝座の石片
- 初転法論の地サ一人

ルナートの土

○説法の地、靈鷲山・竹林精舎跡
の石、祇園精舎跡の土

○入滅の地 クシナガラの土と、
御影石にその地が刻まれていま
す。拝登の折にはぜひこの参道で、

お祈りさまで思いをはせてください。

●丹羽永平寺貫首に糞掃衣贈る

当山住職とのご縁で、以前にも
総持持の梅田貫首に糞掃衣を献上
された池沢悦二氏夫妻が、この度
は、やはり黒田方丈の案内で永平
寺に上山し・丹羽貫首に新たな糞
掃衣を献上なさいました。

遠山形十五条の糞掃衣(おかげさ)

は、衣財(布)を成蹊学園高等女

学校の校長をつとめた奥田正造氏



糞掃衣を着けられた丹羽貫首

の形見の黒紋服として、一年半を
費して一肩一肩縫い上げられたも
のです。

池沢夫妻はじめ門弟の田中氏、

奥田氏の門人百五人が各地から参
集して永平寺に参拝・献上のはこ
びとなつたわけですが、四月二十
一日、糞掃衣をかけた丹羽貫首の

ご寄付御礼

●海外留学僧派遣育英会

黒田 能勝殿

高二 公一殿

岡田しな子殿

永島 俊子殿

遠藤 清勇殿

鳥屋原百合子殿

藤原 君子殿

●『成寿』贊助

大道 晃仙殿

長国寺(岐阜) 殿

一万 二万

五千 二万 五万 二万 一万 一万

導師により、奥田正道夫妻と池沢、
田中両家の先祖代々諸精霊のため
に供養の法要が営されました。